



未来へつなぐ 仙台の防災

仙台防災未来フォーラム 世界防災フォーラム 開催

東日本大震災の経験や教訓を未来へつなぐため、市民が防災を学び、発信する「仙台防災未来フォーラム2023」が、3月4日に開催されます。「ここから広げる防災が身近な世界と未来」をテーマに、震災だけでなく、気候変動等の環境問題や水害なども視野に、広く防災について考えるプログラムを実施。地域団体や教育機関等の各団体が、日頃の活動について発表や展示で紹介するほか、ワークショップやステージショーなどを行います。

3月10日からは、国内外から産官学民の防災関係者が集まる「世界防災フォーラム2023/防災ダボス会議@仙台2023」を開催。世界的な防災の取り組み指針であり、計画の折り返し時期を迎える「仙台防災枠組2015-2030」の中間評価や専門家によるセッションに加え、市民も参加できるイベントが行われます。今回は、若年層の積極的な参画等に焦点をあて、若者や女性の視点も大切にされた防災の具体的な解決策を発信します。

フォーラムを通し、これまで培った経験や知見を未来へつなぐ、市民一人一人が防災・減災に主体的に取り組む防災環境都市づくりを進めていきます。

仙台防災未来フォーラム2023

- 日時—3月4日(土)9:30~16:30
- 会場—仙台国際センター展示棟ほか

◆発表

時間	催し名等	主催者/問い合わせ先
10:00 ~ 11:30	基礎から学ぶ仙台防災枠組 ●定員=48人(直接会場へ)	東北大学災害科学国際研究所、防災環境都市推進室 ☎214・8098
10:00 ~ 12:00	脱炭素都市の実現に向けた取り組みについて ●定員=48人(事前申し込み優先)	地球温暖化対策推進課 ☎214・8057

◆ワークショップ

時間	催し名等
12:45 ~ 14:45	あれから12年スペシャルPart2「人の口から人の心に伝える—みんなの災害体験を100年後の人たちへ」(東日本大震災の体験を、朗読などで伝えます) ●定員=96人(直接会場へ)

◆ステージショー

時間	催し名等
13:00 ~ 13:30	【出張版!】おりはらアドバイザーの3分間防災ちゃんねる(防災への備えについて、実演を交えて紹介します) ●定員=100人(直接会場へ)

このほか、SDGs(持続可能な開発目標)と防災に関する発表や災害時の段ボール活用アイデアを学ぶ工作ワークショップ、「みやぎ災害伝承ポスターコンクール」の作品展示など、さまざまなプログラムが行われるほか、ブース展示やオンライン配信での発表もあります。

◆「環境フォーラムせんだい2023」も同時開催

防災にもつながる豊かな環境を未来へつないでいく取り組みを、展示やワークショップ、クイズなどで楽しく学びます。

世界防災フォーラム2023

- 期間—3月10日(金)~12日(日)
- 会場—仙台国際センター

◆一般公開セッションプログラム(一部抜粋)

日時	催し名等	主催者/問い合わせ先
3/11 (土) 11:20 ~ 12:50	防災まちづくりと女性のリーダーシップ2023 ●定員=110人(要申し込み)	エル・パーク仙台 ☎268・8301
3/12 (日) 11:20 ~ 12:50	仙台BOSAI-TECHイノベーションプラットフォームと社会実装事例「テクノロジーで強くなやかな未来へ」 ●定員=110人(事前申し込み優先)	産業振興課 ☎214・8263

仙台/東北から考える 復興・防災10DAYS

3月4日(土)から13日(月)まで、震災復興や防災への思いを持つ団体等が、防災に関する取り組みの展示や、探検ツアー(詳しくは24ページ参照)などを、市内中心部や沿岸部で行います。LINEで参加できるポイントラリーも実施。対象施設を巡り、防災や減災につながるヒントを見つけてみませんか?

掲載内容は1月18日現在。最新情報等詳しくはホームページをご覧ください。お問い合わせください。仙台防災未来フォーラム2023ホームページ(<https://sendai-resilience.jp/mirai-forum2023/>) ▶



この特集に関するお問い合わせは、防災環境都市推進室 ☎214・8098、FAX214・8497